

令和3年度（2021年度）第4回東海市地域公共交通会議会議録

○会議の名称 令和3年度（2021年度）第4回東海市地域公共交通会議

○開催日時 令和4年（2022年）2月15日（火）
午後1時30分から午後2時40分まで

○開催場所 東海市役所302会議室（3階）

○出席委員 星川功（会長）、嶋田喜昭（議長）、荻本正久、
脇本裕司、天野朝之、小林裕之、佐野達郎、日浦佳宏、
久野兼幸、片桐真砂子、濱屋卓義、大里美栄子、大瀧諒、
秋山和子、成田順一、坂野常夫、加古久夫、山内三奈、
盛林克浩、横山和彦、久保田英男、澤木徹、大西彰

○欠席委員 山口清（副会長）、湯浅一成

○事務局 総務部長、危機管理監、同統括主任、同主任2人

○傍聴者の数 1人

○議題及び審議の概要

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

（会長）本市においても一日当たりの新型コロナウイルス陽性者数が100人を上回る日もあり、依然として猛威を振るっている。3回目のワクチン接種をする等、新型コロナウイルスにかからない対策が必要である。今年度、第7次東海市総合計画の市民アンケート調査を実施した。その中で、今後も東海市に住み続けたいと思っている市民は約8割。約2割の方はすぐに引っ越したいと思っているという結果が出た。この約2割の方のそう思う1番多い理由は、空気が悪いから、2番目に多い理由は、公共交通の利便性が悪いから。本協議会の重要性を改めて感じる結果であった。本日の会議が今年度最後の会議となるが、皆様からいただいた貴重なご意見を踏まえて、来年度以降の会議でも議論を行っていく。本日も委員の皆様にはそれぞれの立場から、忌憚ないご意見をお願いしたい。

3. 報告事項

(1) 前回の会議録の確認について

事務局による資料1の説明

(2) 循環バスの利用状況等について

事務局による資料2の説明

(議長) 循環バスの利用者は、新型コロナウイルスの感染が少し落ち着いていた秋頃から昨年度に比べて微増しているが、このままの水準で行くと年間利用者数は昨年度より少なくなるのではないかと。

(3) 令和4年度(2022年度)地域公共交通計画調査事業について

事務局による資料3から資料6の説明

(議長) 法律が変わり、地域公共交通計画を策定する必要があり、計画策定に伴う調査費を補助してもらおうということである。採択される可能性はあるのか。

(委員) まだエントリーしている段階なので結果は分からないが、いい機会なので、ぜひ補助金を活用して策定して欲しい。

(議長) もし補助金の内定がもらえなかったとしても、調査業務は行うのか。

(事務局) 補助金がなくても実施できるように予算を用意している。

(委員) 計画策定の前にパブリックコメントは実施するのか。

(事務局) 令和5年の秋頃にパブリックコメントを実施する予定である。

4. 協議事項

(1) 令和4年度(2022年度)東海市地域公共交通会議予算案について

事務局による資料7の説明

(委員) バスの乗り方教室はやり方を工夫して、多くの児童に体験してもらえらるような事業となるよう協力させていただく。

(事務局) 学校とも調整してより良い事業にしていく。

(議長) 委託料は確定なのか。

(事務局) 予算要望時点の見積り額である。新年度になったら事務局で業者選定を実施し、委員の皆様には来年度第1回会議にて報告する予定である。

(議長) その際の契約金額の2分の1または上限500万円の補助金が入る予定ということか。

(事務局) はい。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

(2) 地域公共交通計画調査事業（アンケート調査用紙案）について

事務局による資料8、資料9の説明

(委員) 4人まで回答できるようになっているが、世帯人数も含めた3,500人に郵送するのか。

(事務局) 世帯人数は含めず、3,500世帯に郵送するものである。

(委員) よく行く場所の住所は分からないことが多いのではないかと。

(議長) 目的地名が記載してあれば、住所は分かるので「分かる範囲でお答えください」と記載しておけば良いのではないかと。

(事務局) その様に修正させていただく。

(委員) 今後ICカード決済を検討していくのであれば、支払方法についての設問を増やしても良いのではないかと。

(事務局) 検討させていただく。

(委員) 税金の負担額を示している設問で、コロナ禍の令和2年度の負担額が示されているため、割高に感じる市民も多いのではないかと。

(事務局) 今後、新型コロナウイルスの感染が落ち着いたとしても、以前程の利用者数には暫く戻らないと考えており、令和2年度程度の負担額が続くと思われるため、この数字を記載している。

(委員) 「利便性を向上させるために、税金の負担のみ増やすべき」という意見もあると思うが、「税金及び利用者の負担を増やすべき」という選択肢にしているのはなぜか。

(事務局) 「税金の負担のみ増やすべき」という回答が増えることを懸念して、この様な選択肢にしたが、より良い選択肢がないかどうか検討していく。

(委員) 次期ルートについては設問があるが、ダイヤについては設問を設けないのか。

(事務局) 大枠のルートが決まらないとダイヤの議論ができないので、今回のアンケートではダイヤについては記載しない。

(委員) 利用者アンケートは路線バスも実施するのか。

(事務局) 実施する。今回の循環バス利用者アンケートを基に路線バス用の調査用紙を作成する。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

(3) 令和4年度(2022年度)循環バスの無料運行の実施について
事務局による資料10の説明

(委員) 無料運行する際の運行経費は全て市が負担するということか。

(事務局) はい。市の負担金で支払うものである。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

5. 閉会のことば